戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）

「マテリアル事業化イノベーション・育成エコシステムの構築」

（サブ課題A：エコシステム形成の為のソフトインフラ整備）

個別テーマ(1)：プラットフォームの円滑運用手法の検討

 研究開発課題提案書

*※青字の記入要領、記入例は削除して提出ください。*

*※フォントは游明朝を基本としてください。*

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　２０２３年　　月　　日提出

**１．研究開発期間**

契約締結日～　　　　年　　月　　日

*※本SIP課題のサブ課題Bにおける研究開発期間は、契約締結日の属する年度を初年度として、第3年度を上限に設定をしてください。（本公募では2026年3月末日が最長です。）*

**２．研究開発課題の名称**

*※30字以内：事業化支援対象とするサブ課題C(1)「マテリアルユニコーン予備軍創出支援」研究開発課題がわかるようなタイトルをお願いします*

**３．連絡先情報**

（１）研究開発責任者

氏名： 　　　　　フリガナ：

年齢：西暦　　　　年　　月　　日　（　　歳）

所属機関：

部署：　　　　　　　　　　　　　　　　　役職：

住所：〒

電話：　　　　　　　　　　　　　　　　　E-mail：

**４．研究開発提案**

（１）選択するサブ課題C(1)研究開発課題に対する事業化支援の手法の概要

*○公募要領Ⅲ-5およびⅢ-6-3を踏まえて、選択するサブ課題C(1)「マテリアルユニコーン予備軍創出支援」研究開発課題，および行おうとする事業化支援の手法の概要を述べてください。その際、スタートアップ発展形態と対応させて述べてください。*

（２）マテリアル事業化イノベーション・育成エコシステムの形成・運営に必要な手法の概要

*○公募要領Ⅲ-5およびⅢ-6-3を踏まえて、マテリアルユニコーン化を継続的に支援していくエコシステムの形成・運営のために必要と考える手法の概要を述べてください。*

（３）上記選択に至った理由（背景・目的を含む）

*○（1）の研究開発課題を選択した理由について、*

*・当該技術・事業分野の重要性に関する考え*

*・事業化支援の重要性に関する考え*

*・本提案者自身のこれまでの活動との関連性*

*などを含めて、述べてください。*

（4）SIP期間中の研究開発の内容

*〇公募要領Ⅲ-5およびⅢ-6-3を踏まえて、以下について述べてください。*

*〇（1）～（3）を受けて、当該SIP期間中に実施すべき研究開発の全体像を述べてください。*

*〇当該サブ課題C(1)研究開発課題の事業化支援の手法の開発に係る項目を列挙し、各々の実施内容をできるだけ具体的、定量的に述べてください。*

*〇マテリアルユニコーン化を継続的に支援していくエコシステムの形成・運営のために必要と考える手法の開発に係る項目を列挙し、各々の実施内容をできるだけ具体的、定量的に述べてください。*

（5）SIP期間中の研究開発における最終（最長2025年度末）目標

*○（３）で述べた研究開発項目と整合するように、全体および各開発項目について、SIP期間中に達成すべき最終（最終年度末）目標について述べてください。目標は、できるだけ具体的、定量的に示し、達成したか否かを検証可能な形で述べてください。*

（6）SIP期間後の取り組み

*○SIP期間が終了した後の、本手法の開発・実践の継続について述べてください。*

**５．研究開発実施体制**

（１）研究開発責任者・主たる共同研究開発者の一覧

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **氏名****（研究開発責任者に〇）** | **所属** | **担当プロジェクト** |
| 〇 | ○○　○○ | 〇〇大学大学院 |  |
|  | ○○　○○ | 〇〇大学大学院 |  |
|  | ○○　○○ | ㈱△△△△ |  |

*○研究開発責任者、主たる共同研究開発者（共同研究開発機関の代表者）の一覧を作成してください。*

（２）研究開発実施体制図：各研究開発機関の役割および相互関係

*○各研究開発機関の役割および相互関係、単独の研究開発機関で実施する場合には、参画者の役割および相互関係をわかりやすく図示してください。様式は自由です。*

**６．研究開発計画（工程表）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **研究プロジェクト****（担当機関）** | **2023年度** | **2024年度** | **2025年度** |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

*○研究開発題目および担当機関を列挙し、全期間（最長３年）の工程表を作成してください。*

*○各題目のマイルストーン、および題目間の連関を示してください。*

**７．参画研究開発者**

（１）代表研究開発機関

|  |  |
| --- | --- |
| **担当プロジェクト** |  |
| **研究開発機関名****（研究機関コード）** | **○○大学大学院****（e-Rad研究機関コード）** |
| **氏名** | **所属・役職** | **役割** |
| **研究開発責任者****○○　○○****エフォート：XX%****（e-Rad研究者番号）** | **○○研究科 教授** |  |
| **○○　○○** | **○○研究科 教授** |  |
| **○○　○○** | **○○研究科准教授** |  |
| **○○　○○** | **○○研究科ポスドク** |  |

*※代表研究開発機関における参画研究開発者を記入してください。同じ所属機関でも、異なる担当研究開発内容で参画する場合は、別の共同研究開発機関（別の主たる共同研究開発者）として作成しても結構です。*

*※e-Rad研究機関コードおよび研究開発責任者のe-Rad研究者番号を記入して下さい。未取得の場合には、記入しなくてかまいません（ただし採択後、取得が必要になります）。*

*※研究開発責任者のエフォート：年間の全仕事時間（研究活動のみならず教育・医療活動等を含む）を100％として、本事業の遂行に必要とされる時間配分率（％）を記入してください。*

*※提案時に氏名が未確定の参画研究開発者については、「研究員　○名」といった記述でも結構です。*

*※学生が参画する場合も、全員について記入してください。*

〇特記事項

*※特別の任務等（研究科長等の管理職、学会長など）に仕事時間（エフォート）を要する場合には、その事情・理由を記入してください。*

（２）共同研究開発機関①*←１から丸数字（①、②…等）を付けてください。*

|  |  |
| --- | --- |
| **担当プロジェクト** |  |
| **研究開発機関名****（研究機関コード）** | **○○大学大学院****（e-Rad研究機関コード）** |
| **氏名** | **所属・役職** | **役割** |
| **主たる共同研究開発者****○○　○○****エフォート：XX %****（e-Rad研究者番号）** | **○○研究科 教授** |  |
| **○○　○○** | **○○研究科 教授** |  |
| **○○　○○** | **○○研究科准教授** |  |
| **○○　○○** | **○○研究科ポスドク** |  |

*※共同研究開発機関ごとに、参画研究開発者を記入してください。同じ所属機関でも、異なる担当研究開発内容で参画する場合は、別の共同研究開発機関（別の主たる共同研究開発者）として作成しても結構です。*

*※e-Rad研究機関コードおよび主たる共同研究開発者のe-Rad研究者番号を記入してください。未取得の場合には、記入しなくてかまいません（ただし採択後、取得が必要になります）。*

*※主たる共同研究開発者のエフォート：年間の全仕事時間（研究活動のみならず教育・医療活動等を含む）を100％として、本事業の遂行に必要とされる時間配分率（％）を記入してください。*

*※提案時に氏名が未確定の参画研究開発者については、「研究員　○名」といった記述でも結構です。*

*※学生が参画する場合も、全員について記入してください。*

〇特記事項

*※特別の任務等（研究科長等の管理職、学会長など）に仕事時間（エフォート）を要する場合には、その事情・理由を記入して下さい。*

**８．研究開発責任者の略歴および主な関連業績**

|  |  |
| --- | --- |
| **研究開発責任者****氏名** | ○○　○○ |
| **学歴****（大学学部****卒業～）** | *（記入例）**※年号は西暦で記載願います。*XXXX年　○○大学○○学部卒業XXXX年　○○大学大学院 ○○研究科修士課程○○専攻修了（指導教員：○○教授）XXXX年 ○○大学大学院　○○研究科博士課程○○専攻修了（指導教員：○○教授）**【記入必須※】**XXXX年　博士（○○学）（○○大学）取得*※利害関係にある評価委員の除外のため、指導教官名、所属した研究部署の上長名は必ず記載して下さい。* |
| **主な職歴、****関連業績** | *（記入例）*XXXX年　○○大学○○学部　助手○○教授研究室で○○○○について研究XXXX年　○○研究所　研究員○○博士研究室で○○○○に関する研究に従事XXXX年　○○大学○○学部教授○○○○について研究 |

*※研究開発責任者の学歴、主たな職歴、関連業績についてについて記入してください。*

**９．参画研究開発者の専門分野、関連業績がわかる略歴**

|  |  |
| --- | --- |
| **氏名****（所属機関）** | **専門分野や主な関連業績など** |
| ○○　○○（〇〇大学） |  |
|
|  |  |
|
|  |  |
|

*※主たる共同研究開発者等、参画研究開発者について、専門分野、主な関連業績を簡潔に記入してください。ただし、本プロジェクトに関係する内容に絞ってください。*

**１０．他制度での助成等の有無（民間財団・海外機関を含む）**

（１）研究開発責任者：○○　○○

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **番号** | **制度名** | **受給****状況** | **研究課題名****(代表者氏名)** | **研究****期間** | **役割****(代表/****分担)** | **(1)本人受給研究費****(期間全体)****(2) 〃 (2025年度 予定)****(3) 〃 (2024年度 予定)****(4) 〃 (2023年度 予定)****(5) 〃 (2022年度 実績)** | **2023年度****ｴﾌｫｰﾄ(%)** |
| - | 内閣府戦略的イノベーション創造プログラム(SIP) | 申請 | 提案課題名（〇〇〇） | 2023.11－2025.3 | 代表 | (1)　　千円(2)　　千円(3)　　千円(4)　　千円(5)　　千円 | 7．参画研究開発者と同値を記入 |
| 1 | 科学研究費補助金基礎研究(S) | 受給 | ○○の創成（〇〇〇） | 2022.4－2025.3 | 代表 | (1)　　千円(2)　　千円(3)　　千円(4)　　千円(5)　　千円 | 20 |
| ※ 本申請との切り分け（簡潔に記載） |
| 2 | JST戦略的創造研究推進事業（CREST） | 申請 | ○○の高機能化（〇〇〇） | 2023.10－2028.3 | 分担 | (1)　　千円(2)　　千円(3)　　千円(4)　　千円(5)　　千円 - | - |
| ※ 本申請との切り分け（簡潔に記載） |
| 3 |  |  |  |  |  | (1)　　千円(2)　　千円(3)　　千円(4)　　千円(5)　　千円 |  |
| ※ 本申請との切り分け（簡潔に記載） |

*※記入内容が事実と異なる場合には、採択されても後日取り消しとなる場合があります。*

*※本提案課題を最初に、次にその他研究課題を本人受給研究費(期間全体)が多い順に記入してください。*

*※本申請の技術シーズとの関連有無に関わらず、記入してください。*

*※必要に応じて行を増減してください。*

*【注意事項】*

*（１）「受給状況」*

*以下のいずれかを記入してください。*

*・受給：現在受給中または受給が決定している課題。*

*・申請：申請中または申請予定の課題。*

*（２）「役割」*

*以下のいずれかを記入してください。*

*・代表：その研究課題において、代表者として研究費を受給*

*・分担：その研究課題において、代表者以外の立場で研究費を受給*

*（３）「本人受給研究費」*

*以下に従って、研究費（年度別・総額）を千円単位で記入してください。*

*（ア）代表者として研究費を受給した研究課題*

*「代表を務める研究チーム（共同研究チームは除く。研究チームが本人のみの場合は代表者本人）」 が受給した研究費*

*（イ）代表者以外の立場で研究費を受給した研究課題*

*「本人が分担者のグループ代表者として所属する研究グループ（分担グループが分担者のみの場合は分担者本人）が受給した研究費*

*（４）「エフォート」*

*申請中・申請予定の課題（受給状況に「申請」と記入したもの）については、エフォートは記入しないでください。 また、起業実証支援の申請課題のエフォートと、その他受給中の研究課題のエフォートとの合計が100%を超えないようご注意ください（e-Rad上で採択の処理ができない場合があります）。*

（２）主たる共同研究開発者：○○ ○○

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **番号** | **制度名** | **受給****状況** | **研究課題名****(代表者氏名)** | **研究****期間** | **役割****(代表/****分担)** | **(1)本人受給研究費****(期間全体)****(2) 〃 (2025年度 予定)****(3) 〃 (2024年度 予定)****(4) 〃 (2023年度 予定)****(5) 〃 (2022年度 実績)** | **2023年度****ｴﾌｫｰﾄ(%)** |
| - | プロジェクト推進型起業実証支援 | 申請 | 提案課題名（〇〇〇） | 2023.9－2025.3 | 分担 | (1)　　千円(2)　　千円(3)　　千円(4)　　千円(5)　　千円 | 7．参画研究開発者と同値を記入 |
| 1 | 科学研究費補助金基礎研究(S) | 受給 | ○○の創成（〇〇〇） | 2022.4－2025.3 | 代表 | (1)　　千円(2)　　千円(3)　　千円(4)　　千円(5)　　千円 | 10 |
| ※ 本申請との切り分け（簡潔に記載） |
| 2 |  |  |  |  |  |  |  |
| ※ 本申請との切り分け（簡潔に記載） |

*※記入内容が事実と異なる場合には、採択されても後日取り消しとなる場合があります。*

*※本提案課題を最初に、次にその他研究課題を本人受給研究費(期間全体)が多い順に記入してください。*

*※本申請の技術シーズとの関連有無に関わらず、記入してください。*

*※必要に応じて行を増減してください。*

*【注意事項】*

*（１）「受給状況」*

*以下のいずれかを記入してください。*

*・受給：現在受給中または受給が決定している課題。*

*・申請：申請中または申請予定の課題。*

*（２）「役割」*

*以下のいずれかを記入してください。*

*・代表：その研究課題において、代表者として研究費を受給*

*・分担：その研究課題において、代表者以外の立場で研究費を受給*

*（３）「本人受給研究費」*

*以下に従って、研究費（年度別・総額）を千円単位で記入してください。*

*（ア）代表者として研究費を受給した研究課題*

*「代表を務める研究チーム（共同研究チームは除く。研究チームが本人のみの場合は代表者本人）」 が受給した研究費*

*（イ）代表者以外の立場で研究費を受給した研究課題*

*「本人が分担者のグループ代表者として所属する研究グループ（分担グループが分担者のみの場合は分担者本人）が受給した研究費*

*（４）「エフォート」*

*申請中・申請予定の課題（受給状況に「申請」と記入したもの）については、エフォートは記入しないでください。 また、起業実証支援の申請課題のエフォートと、その他受給中の研究課題のエフォートとの合計が100%を超えないようご注意ください（e-Rad上で採択の処理ができない場合があります）。*

**１１．ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する指標**

|  |
| --- |
| 認定等の有無： |
| 認定等の名称：（認定段階： ）　　　　　　 （計画期間：令和○年○月○日～令和○年○月○日） |

*※えるぼし認定、プラチナえるぼし認定、くるみん認定、トライくるみん認定、プラチナくるみん認定及びユースエール認定については、認定通知書の写しを、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画（策定義務のない事業主（常時雇用する労働者が 300人以下のもの）が努力義務により届出たものに限る。）については、労働局の受付印のある一般事業主行動計画策定届の写しを添付してください。*

*※認定段階については、えるぼし認定の認定段階（１～３）を、計画期間については、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律及び次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画に示された計画期間を明記してください。*

*※事業者の経営における主たる事業所（本社等）において取得しており、かつ、提案書提出時点において認定等の期間中であるものに限ります。*

**１２．人権の保護および法令等の遵守への対応**

*※研究計画を遂行するにあたって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続きが必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのかを述べてください。*

*※例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、組換えDNA実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続きが必要となる調査・研究・実験などが対象となります。*

*※該当しない場合には、その旨を述べてください。*

**応募要件チェックリスト**

（本チェックリストは、「A4サイズ、20頁以内を目安」の制限には含まれません。）

[ ] 対象となるサブ課題C個別テーマ(1)の研究開発課題における、下記ⅰ）ⅱ）両方セットの提案である。

ⅰ）当該研究開発課題をユニコーンにするための事業化支援の各種手法の開発計画

ⅱ）ユニコーン化を継続的に支援していく為のエコシステム形成・運営に必要な各種手法の開発計画

[ ] 研究開発の対象は公募要領表V-1及び図V-1、図V-2に示すスタートアップの発展形態（第1形態〜第7形態）のうち、第1形態〜第3形態である。

[ ] 当該発展形態をよく理解し、最終形態（第7形態）をイメージしながらバックキャスティングした上で、第1形態〜第3形態を定義した。

[ ] 提案にあたっては第3形態までの体制を明確にイメージができることを本研究開発のゴールと設定した上で、明確なKPIを提示した。

[ ] 公募要領図V-2のスタートアップの各発展形態で示される、事業化支援部門に要求される機能・想定論点を網羅するだけでなく、各個別テーマの事情に合わせた提案である。

[ ] 採択時に、手法開発に取り組む事項については他採択者と分担する場合があることを理解した。

[ ] 「マテリアルユニコーン育成エコシステム形成」の観点で、本SIP課題の構成・思想を理解した上で、当該サブ課題C個別テーマ(1)の対象となる採択者と緊密な連携をとるだけでなく、同個別テーマ(1)の他の採択者、また、本SIP課題の核となる用途特化型モジュール（アプリ）の価値最大化のため、サブ課題Bとも緊密な連携を行う。

[ ] ⅰ）については、当初よりグローバル展開の視点を念頭に置いている。

[ ] ⅱ）については、本SIP課題の趣旨をよく理解した上で、本支援により我が国が国際的に唯一のマテリアル産業におけるエコシステムとして形成されるに必要な要素をよく考慮し、スタートアップの発展形態に合わせた事業化支援部門に要求される機能・想定論点の網羅に限らず、あるべき姿をイメージした。

[ ] 上述あるべき姿のイメージにあたり「戦略及び計画」に言及される成熟度(Readiness Level)に基づくエコシステムの成長イメージについて参照した。

[ ] 現在、SIP課題終了までにエコシステムを運営する主体となる、事業化支援を担うアカデミア共同参画組織の設立の可能性について検討している。当該組織の運営の一要素となることを念頭に置き、手法の普遍化・見える化に取り組み、幅広く我が国マテリアル産業を中心とするアカデミア等で活用ができるよう考慮し、実際に活用されるよう取り組む。

[ ] 内閣府発表の「大学知財ガバナンスガイドライン」を熟読の上、当ガイドラインの思想を組み込み、本ガイドラインに沿った運用ができるよう、本件を遂行する上で必要な所属機関の関係部署と連携する体制を構築する。

[ ] 採択された場合、本件を推進する為の適切な外部人材を採用する。（採用しない場合は、その合理的な理由を示す。）

[ ] 採択された場合、対象となるサブ課題C個別テーマ(1)の研究開発責任者の所属する機関（研究代表機関）と共同開発契約、事業化支援契約或いはこれに準ずる契約を締結する。

[ ] 前述契約の締結と併せ、採択後速やかに、所属機関の長（大学であれば学長）に対し本SIP課題の趣旨についてPDから説明の場を設ける。